



陽風語録

師走の落葉は新緑、開花への衣替である。落葉は語らずとも世の乱れを正す心の衣替を教え諭している今の世である。心の衣替を行えば自ら開花のよろこびがいつて来る。

古都の風格

陽風園診療所所長 河合 卓一

ベルギーはゲント市に立ち寄った事がある。旅行会社のツアーに組み込まれていた。旅の途中で分かったのだが、同市は金沢市と姉妹都市だった。"なんだ、そんな事も知らなかったのか"と言われそうであらう。併解するわけではないが、金沢市民のどれだけの人がそのことをご存知だろうか。金沢市よりも人口が少なくあまり期待していなかったが、訪れてみて同市の歴史の重みに圧倒された。聖バーフ大聖堂やゲラルド城などは十二世紀の創建だそうである。時間が由緒ある街を演出している。その一画を担っている市役所も五百年は経っており(金沢城築城より前)、人工衛星が飛び交う、I・T時代の現代に現役として機能しているのである。単に木と石の文化の違いだけであろうか。恐らく何世代にも亘って手入れがなされてきて、そしてそれを続けさせてきたものは住民の意思だろう。

翻って我が金沢をみると、城址、神社、仏閣等はあるが欲を云えば少し寂しい。旧石川県庁舎は大正十三年に建てられ、背景に金沢城址を配し前庭に二本の巨樹を従え、隣に連なる赤レンガの石川近代文学館が明治期の雰囲気を出している。百年・二百年の時間の物差しで見ると、旧県庁舎も大正期の建物として古都金沢の街に歴史の深みを付けてくるだろう。宏大な建築物や道路を造り街路樹を植えれば大都市の体裁は整うかもしれないが、古都の風格を帯びるには時間の助けが必要だろう。

もっとも徒に年月を重ねればすべて良しとも行かないように、切磋せずに喜寿を迎えた私は今や風格ならぬ風化の状態だが。

介護施設の一元化？

第三万陽苑施設長 越 孝之

「介護施設等の在り方」についての検討が九月から始まりました。

六月に成立した健康保険法等の一部を改正する法律の附則で、介護老人保健施設及び介護老人福祉施設の基本的な在り方とこれらの施設の入所者に対する医療の提供の在り方の見直しが求められていることを受けてのものです。背景には、介護保険法が成立したときの国会の附帯決議のなかで、「介護保険施設については、一元化の方向を目指しつつ、その機能・役割分担の明確化を図る」ことが求められていることでもあるのではないかと危惧しています。

介護保険で施設給付の対象となつているのは、指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、指定介護療養型医療施設の三類型です。

介護保険法では、介護老人福祉施設は、特別養護老人ホームであつて、「入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の

世話を行う」施設、介護老人保健施設は、「看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話を行う」施設、介護療養型医療施設は、病院又は診療所であつて、「療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護その他の世話及び機能訓練その他必要な医療を行う」施設とされています。

つまり、老人福祉法に基づいて設置された特別養護老人ホームが、介護保険法上の指定を受けて、介護老人福祉施設としての業務を行つており、医療法に基づいて設置された病院・診療所が介護保険法上の指定を受けて、介護療養型医療施設としての業務を行つているのです。介護老人保健施設は、介護保険法に基づいて設置されることになつています。

このなかで、介護療養型医療施設については将来的に介護保険法上の指定を外れることが決まっていますので、今回は、残された介

護老人福祉施設と介護老人保健施設の一元化が検討される可能性を持っているのではないかと思つています。ここで、一方は介護保険法に基づいて設置されており、他方は他の法律に基づいて設置され、介護保険法上の指定を受ける必要があるわけですから、構図だけ見れば、制度当初から、介護保険の施設給付は介護老人保健施設に一元化されることが予定されていたことが明らかのような気がします。

しかし、介護療養型医療施設においても、介護老人保健施設においても、介護老人福祉施設においても提供されている「介護」が同等だと考えて性急に一元化を進めるといふことがあつてはいけないと思ひます。基盤になつている制度が異なり、施設が持つている性格も異なるということは、基になつている考え方が異なるということでもあると思ひます。

特別養護老人ホームには、一九六三（昭和三十八）年の老人福祉法制定以来、長年にわたつて要介護高齢者の介護を担ってきたという自負があると思つています。福祉の考え方に基ついて、「生活の場」として、利用者一人ひとりの人権

と人格を尊重し、できるかぎり制約の少ない自由な生活を保障することに努めてきたのだと思ひます。

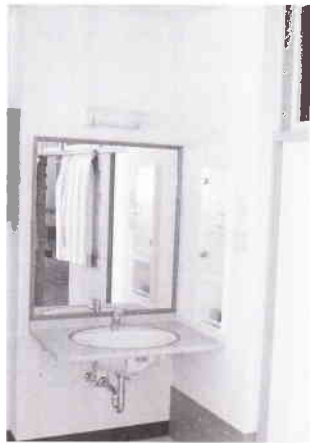
「ねたきり老人はいない」を合言葉に利用者を「ねかせきり」にすることなく、生活主体者としての主体的な生活が送れるように、離床をすすめてきました。心のケアとコミュニケーションに努めながら自立・自律を支援してきたと思つています。また、寝食分離を始め生活の質を向上させるために、食堂の整備や居室の個室化等、環境の整備を図り、より豊かな生活と社会的な活動を保障するために、文化的な活動や地域との交流にも努めてきました。加えて、地域の福祉力向上にも力を尽しています。

もし、一元化が検討されるといふことであるならば、それぞれの施設の相違の本質を明確にし、利用者の立場に立つて、福祉と医療の連携のより望ましいあり方を検討していただきたいと思います。無理に一元化するというのではなく、機能分担を明確にしたうえで、それぞれの不足を補つて、利用者の選択に委ねるといふ道もあると思ひます。慎重な検討を期待したいと思つています。

園だより

トイレ・洗面所他改修
(万陽苑)

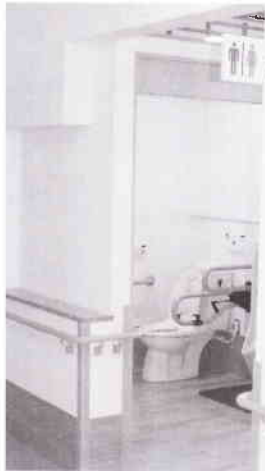
築後三十数年の三階建て部分について、一昨年の外壁塗装、昨年のエレベーターリニューアルや廊下・スロープ等の改修に続き、トイレ・洗面所の改修を行いました。洗面台取換え・取付が三十一室と



なり、生活をしながらの工事なので三期に分けて行われました。

既存の壁の解体時の騒音や振動などありましたが、きれいで便利になったトイレでは、満足げな利用者の顔が見る間に増えてゆきました。隣接施設の利用者からも「ここまで使いに来たいくらいきれいやね」と声をかけられました。

また、既存の建物改修の難しさ



も改めて知りました。壁の解体中に、予想もしない所から水が噴出したり、壁貫通の穴あけをする時に壁内埋設の電気配線を切ってしまったりと、いろいろなアクシデントに見舞われた上、設計よりも実寸が足りず、各個所で数センチのやりくりが必要になりました。

なお、工費は六千万円を超える大きなものとなりました。関係各位のご協力に感謝申し上げます。



最後に、石川県職員退職者会慰問団の皆様には、お忙しいなか、記念演芸をしていただきありがとうございます。



楽しい話を交えながら、素敵な歌声を聴かせて頂き、本当にありがとうございました。

敬老の日
記念行事

今年の敬老の日は、昨年に引き続き石川県職員退職者会の皆さんによる演芸が行われました。安田理事長の挨拶に始まり、続いて米寿の方にお祝いのひざ掛けが贈呈され、間もなく拍手喝采のなか幕をあげました。次々とくり出されるマジック。

「あつ、新聞紙からなぜ？水が漏れないの？」そして華やかなフラダンス。「北陸なのにまるでハワイにいるよう……」に感じられたのではないのでしょうか。とても楽しいひと時でした。

「イルカに乗った少年」
がやってきた!!

平成十八年十月七日、かつてのアイドル歌手「城みちる」さんが来園されました。

鮮やかな黄色のステージ衣装に身を包み、デビュー曲「イルカに乗った少年」をはじめ、懐かしの歌謡曲全七曲を披露して下さいました。

城さんは、以前訪問した老人ホームの方から激励されたことがきっかけで、五十歳を迎える来年十一月までに五百カ所の施設を慰問したいと目標を掲げ、城さんの地元中国地方を皮切りに、九州、近畿地方を訪れ、当園が百七十二番目となりました。

施設だより

向陽苑

飛騨高山と下呂温泉の旅

平成十八年十月三日から四日にかけて、秋の旅行・飛騨高山と下呂温泉一泊二日の旅に二十三名の入所者の方々が参加されました。

秋晴れの素晴らしい天候の中、「ドライブイン数河」で昼食をとった後、「高山まつりの森」を見学しました。その後、下呂温泉「水明館」に到着すると、早速温泉に向かわれ、心も体も癒されたことでしょう。

そして、皆様の楽しみといえはやはり宴会です。飛騨牛を始めとする豪華な料理を味わいながら、素敵な太鼓ショーで楽しい一時を過ごされました。

翌日、「下呂温泉いでゆ朝市」では、皆さん、どれにしようかとそれぞれの土産を探すが見られました。その顔には笑顔があふれ、この旅行を十分に楽しんでいただけたと思えました。

第二万陽苑

長寿を祝う会

九月十七日恒例の「長寿を祝う会」を開催しました。

会は、大森副施設長の挨拶で始まり、県と市からの敬老祝品の贈呈が行われました。続いて模擬店と余興のスタートです。

模擬店のメニューは、主食が赤飯と松茸御飯、汁物は豆腐とじゆん菜のすまし汁、主菜は銀だらの西京漬け焼きと治部煮、副菜に金時草と菊の酢の物、デザートは、地酒ゼリーと五郎島金時プリン、和菓子など旬の地物野菜をふんだんに用意いたしました。皆さんは口々に「美味い」と、秋の味覚に舌鼓を打たれていました。

余興は、吉村笑子さん主宰の「ほえみ会」の皆様による歌謡シ



ョーが行われ、来場の皆さんはその歌声に酔いしれていました。次にポラントイアによるマジックショーやオーボエという

楽器の演奏が行われました。最後に職員による「お祭りマンボ」ダンスが披露され、二時間余り開催された「長寿を祝う会」は盛大なうちに終わることができました。



その他の老人福祉週間行事として、地下ロビーに展示コーナーを設け、利用者の皆さんが作られた手芸、書道、生花、写真、俳句などの作品を展示しました。たくさん作品は、来苑者の目を楽ませてくださいました。

また、生花や抹茶、料理の集いやビデオ上映会、喫茶、長寿の湯、ドライブ(兼六園周辺と石川県庁展望台の二コースから選択)などを行い、利用者の皆さんに楽しんでいただきました。

今後も、利用者の皆さんはもちろんのこと、ご家族や地域の皆さんに喜んでいただける行事企画を提供し、施設での生活がより質の高いものになるよう取り組んで行きたいと思えます。

陽風園日誌

8月

盆踊り

法話

TM Y エコーズ琴のポランティア (陽風園)

美容ポランティア (陽風園)

地藏盆法要 (陽風園・第二万)

誕生会 (各施設)

喫茶 (各施設)

シヨッピング (第二万・第三万・第三万デイ)

木越デイサービスタワー利用者との交流会 (みずき・木越デイ)

介護ネットワーク委員会 (特養三施設・診)

納涼祭 (第二万・若葉・木越デイ)

海風浴 (万陽・第三万)

夏休みチャレンジ教室 (三陽ホーム)

納涼バーベキュー (三陽ホーム)

秋の旅 (三陽ホーム)

向日葵ドライブ (ハビリポート若葉)

セルプフェア (あけぼの作業所)

小学生との交流 (みずき保育園)

家族介護者教室 (万陽デイ・第三万デイ)

健康教室 (木越デイ)

ドライブ (木越デイ)

崎浦健康づくり教室

つつじが丘健康づくり教室

内川健康づくり教室

大桑団地健康づくり教室

菊川健康づくり教室 (地域福祉支援センター)

施設だより

第三万陽苑

「月下美人」咲きみだれ

十月四日午後八時。「月下美人」が今年も玄関口ビーに咲きました。今回は、一夜でなんと十一輪もの花を実らせ、空間を包み込むかのような風情を醸し出してくれました。

「月下美人」はサボテン科クジャクサボテン類の一種で、まさにクジャクが羽を広げたような装いをみせる花です。純白の大輪の花は、美しく香りが良く、玄関いっばいにその香りを漂わせ、しかも夜にしか花を咲かせないということ、なかなか目に触れないものです。貴重な姿に利用者の方も感動されていました。

しかし、開花してから四時間ほどでその生命は終わりを告げます。その短い時の中でも精一杯に生きる美しい姿は、私たちに勇気を与えてくれているように思います。

そう思わせるほどの華麗な「月下美人」。来年もまた元気に咲き、ひと時の幸せを魅せてくれることを願いたいと思います。



三陽ホーム

崎浦地区防災訓練

陽風園の位置する三ツ新町は、崎浦地区と呼ばれています。崎浦地区では、平成七年の阪神・淡路大震災を教訓として、毎年九月、自主防災訓練を計画、開催し「自分の生命を守る」・「災害に強い町づくり」の推進を目的としています。

三陽ホームも、利用者・職員とともに、地域の方々と一緒にこの訓練に参加し、改めて防災の大切さを実感してきました。

「消火訓練」は、園に設置してあるものと同型の消火器を使用し、実際の炎を消すというものでした。炎の勢いや風向きなど、消火器があっても安易に鎮火できるものではないということを確認することができました。

「水消火器訓練」は、見た目は通常の消火器ですが、レバーを押すと中から水が出てきて、消火器よりも容易に使うことができ、利用者の皆さんも「的めがけて、うまく放水されていました」。

「スプレー式訓練」では、天ぷら油に引火した火を消す訓練を行いました。調理をするという機会は普段あまり多くありませんが、消火器にも色々な種類のものがあることを知ることができました。

「地震体験」は、地震車を使って『震度七』の状況を体験す



るといふものでした。利用者の方の中には、体験だとわかっていても恐がっている人もいました。

ホームから参加したすべての方が、すべての訓練を体験したわけではありませんが、この訓練を通して災害の恐ろしさや日頃の訓練の重要性が、実感できたのではないかと思います。

最近、防災・防犯・テロといった危機管理の重要性が目まぐるしく注目を集めています。益々必要となってくるにちがいにあります。

ホームでも、月一回以上、火災等を想定した避難訓練を行っています。まず、防災に努めること、そして、災害発生時には日頃の訓練どおりの避難等が行えるよう、これからの防災意識の高揚につなげていきたいと思えます。

9月

理事会・評議員会 (陽風園)
真咲ひでこ・歌と踊りの祭典 (陽風園)

消火技術競技大会 (陽風園)
金沢市崎浦地区自主防災訓練 (陽風園)

法話 (陽風園)
敬老の日の式典・記念演芸 (陽風園)

誕生会 (各施設)
喫茶 (各施設)
敬老週間・模擬店 (老人四施設)

シヨッピング (第二万・第三万・第三万デイ)

介護ネットワーク委員会 (特養三施設・診)

木越デイサービスセンター利用者との交流会 (みずき・木越デイ)

巡回幼児安全教室 (みずき保育園) 運動会 (みずき保育園)

ウッドデッキでお食事会 (木越デイ) ドライブ (第二万・木越デイ)

秋の旅 (向陽・三陽・若葉) 福祉の集い2006金沢 (三陽・若葉・あけぼの)

敬老茶話会 (第三万デイ) お茶会 (向陽苑)

石川県社会福祉施設演芸会 (向陽苑) 石川県障害者ふれあいフェスティバル (若葉・あけぼの)

めぐみ保育園訪問 (第二万陽苑) 菊川健康づくり体操教室

つつじが丘健康づくり教室 十一屋健康づくり教室 大桑団地健康づくり教室 (地域福祉支援センター)

石川県知的障害者福祉協会ソフトボール大会 (ハビリポート若葉)

施設だより

ハビリポート若葉

ハビリエンジョイピック

十月十日(火)、恒例のハビリエンジョイピックが行われました。この日は快晴で、とても気持ちの良い秋晴れの一日でした。皆さん、朝からスポーツウエアに着替え、競技の開始を待ちきれない様子でした。

午前中、一・二・三丁目の皆さんは体育館で玉入れや大玉ころがしをし、四・五丁目の皆さんはサンライズ(食堂)で玉入れやボウリングを楽しみました。

午後からは、全丁の利用者が体育館に集まり、風船バレーを楽しみました。思いどおりにアタックが決まると、会場から歓声が沸き起こり、皆さんとても良い笑顔をされていました。そして競技の最後は、保護者と職員の利用者皆さんの応援を受け、双方一歩も譲らない白熱した対戦となりました。皆、競技を終えた後は、熱気でほてった身体に満面の笑みを浮かべていました。これからもハビリエンジョイピックなどを通じ、利用者皆さんの元気で充実した日々を送って頂けるよう、また健康管理にも努め、支援して行きたいと思えます。

あけぼの作業所

芋堀り大会

秋と言えば芸術の秋、スポーツの秋と色々ありますが、一番のお楽しみは、やはり食欲の秋ではないでしょうか。去る十月十四日、クラブ活動の時間にあけぼの農園にて芋堀りを行いました。農耕班の利用者の方々を中心に丹精込めて世話をしていた甲斐があり、芋は大きく立派に育ち、いよいよ収穫の時を迎える事となりました。

当日は天気にも恵まれ、利用者の方々がそれぞれ芋を掘っていきましました。掘ったさつま芋の中には、非常に個性的な形のものもあり驚いたり、思わず笑ってしまったりと楽しそうに、掘



写真は試食のふかし芋です。

っていました。

また、掘った芋を運んだり洗ったりとそれぞれ役割を担った後、いよいよお楽しみ試食タイムとなりました。自分達で収穫した芋をすぐに食べたその味は格別といった感じで、皆おいしそうに食べていました。

収穫という農作業を通し、少しでも自然とふれあい、良い気分転換となったようでした。試食の間も収穫した芋の形や、掘った時の事を話しそうに語っている場面も見られ、中にはすでに来年の芋堀りの事を話す気の早い方もいました。空は青く風も爽やかな中で身体も疲れも心地よく感じる一日でした。

陽風園日誌

10月

- ほほほ笑いコンサート (陽風園)
- 城みちる歌謡ボランティア (陽風園)
- 法話 (陽風園)
- 千寿閣社交ダンス愛好会演芸ボランティア (陽風園)
- 高砂大学校同窓会演芸慰問 (陽風園)
- 藤間他喜代社中ボランティア (陽風園)
- 誕生会 (各施設)
- 喫茶 (各施設)
- 介護ネットワーク委員会 (特養三施設・診)
- シヨッピング (万陽・第二万・第三万・第三万デイ)
- 芋パーティー (みずき保育園)
- 遠足 (みずき保育園)
- 未就園児と父親の遊ぼう会 (みずき保育園)
- 秋のゲーム大会 (万陽デイ・木越デイ)
- 健康教室 (木越デイ)
- 木越デイサービスタワー利用者のみずき保育園児との交流会 (みずき・木越デイ)
- 秋の旅 (向陽・万陽・第三万・三陽 若葉・あけぼの)
- 北陸三県救護施設スポーツ大会 (三陽ホーム)
- ハビリエンジョイピック (ハビリポート若葉)
- ひまわり理容ボランティア (第二万陽苑)
- 菊川健康づくり教室
- 崎浦健康づくり教室
- つつじが丘健康づくり教室
- 大桑団地健康づくり教室 (地域福祉支援センター)
- 紅葉ドライブ (万陽デイ・第三万デイ)

施設だより

木越デイサービスセンター

リハビリ

センターでは、上下肢の筋力維持・低下予防のため、毎日リハビリ体操に取り組んでいます。当初、運動を拒んでいた人も今では体操の時間が近づくとい体操の時間になったら声かけてね」と言う方、その時間を楽しくみ自ら体操をする場所に行き、椅子に座って待っている方等様々です。今年の五月から新しいメニューとしてセラバンドを取り入れたところ、意欲的に取り組まれていきます。セラバンドの色によりゴムの強度が違うため、一人ひとりに合った物を選び使用しています。今では、そのセラバンドを準備すると、「私に赤色のゴムちょうだい」と自分が使用するバンドの色を覚えていて自ら言われる方もいます。「ゴム体操してから体操が楽しいし、身体が楽になったよ」等、日毎に笑顔も増え、楽しく体操をしている様子を見ると、とても嬉しく感じます。これからも、個人の状態に合わせて、負担にならない範囲で楽しんで体操ができるよう、また、継続する事で現在の状態を維持できるように援助していきたいと思えます。

みずき保育園

育児の共同参画を目差して

今年度、子育て夢ステーション事業の一環として「未就園児とお父さんの遊ぼう会」に取り組みました。我が子と触れ合う楽しさを感じてもらおうことを目的とし、年齢に応じた玩具や発達を保証するような遊び、ラッブの芯や空箱を使った手作り玩具を紹介したり、体を使って遊ぶコーナーでは、体操や肩車、腕プランコなどスリルある動きにどの子も満面の笑みを浮かべ、父親も嬉しそうでした。父親と一緒に遊ぶことで楽しさを共有し、子どもとの時間をより多く持てるようにと願っています。短い時間でもこの間、母親は家事を済ませホッとする時間を持つことができるでしょう。母親から味わうことのできない温かさ、大らかさが父親にはあります。子どもの笑顔は疲れた父親を癒し、父と子の笑顔は、母親を癒してくれます。保育園に来てくれた勇氣あるお父さんに、そして子育て奮闘中のお母さんにエールを送りつつ、子育ての共同参画の一助になればと、次回の計画を練っています。

在宅サービス利用状況 (8月~10月)

施設名	事業	延人数
万陽苑	ショートステイ	466
	デイサービス	1,035
	ホームヘルプサービス	307
	配食サービス	750
	移送入浴サービス	57
	居宅介護支援事業	705
木越	介護相談	323
	デイサービス	759
第二万陽苑	居宅介護支援事業	104
	ショートステイ	313
	ホームヘルプサービス	386
金沢南	居宅介護支援事業	97
	居宅介護支援事業	401
第三万陽苑	ショートステイ	398
	デイサービス	804
	居宅介護支援事業	283
ハビリポート若葉	ショートステイ	17

利用者の変動状況 (8月~10月)

施設名	利用者数 (11月1日現在)	入	所	退	所
向陽苑	240	3		3	
万陽苑	187	30		37	
第二万陽苑	147	24		24	
第三万陽苑	147	13		13	
三陽ホーム	103	0		0	
ハビリポート若葉	211	0		0	
あけぼの作業所	40	1		1	
みずき保育園	170	3		0	
診療所	11	23		26	
合計	1,256	97		104	

ふれあいのまちづくり事業活動

講師派遣日数			
8月	9月	10月	計
0	0	1	1

感謝録

8月～10月

(順不同・敬称略)

ボランティア

- 石川県美容業生活衛生同業組合 (金沢市)
- TMYエコース (内灘町)
- PL金沢南教会 (金沢市)
- 退職公務員連盟 (金沢市)
- 石川県職員退職者会慰問団 (金沢市)
- ほほ笑み会 (金沢市)
- 千寿閣社交ダンス愛好会 (金沢市)
- 高砂大学校同窓会 (金沢市)
- 藤間他喜代社中 (金沢市)
- 金沢菊水ライオンズクラブ (金沢市)
- 真如苑 (金沢市)
- ひまはりの会 (金沢市)
- 第二万陽苑家族会 (金沢市)
- めぐみ保育園 (金沢市)
- 合歓の会 (金沢市)
- 縁の会 (金沢市)
- 葉月の会 (金沢市)
- 三色すみれの会 (金沢市)
- 内川校下婦人会 (金沢市)
- (社)家庭教育振興協会スコーレ (金沢市)
- 加川 明 (東京都) 真咲ひでこ (野々市町)

寄附物品の部

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 城 みちる (東京都) | 新畑 光文 (金沢市) |
| 安岡 龍男 (金沢市) | 宮口 文泰 (金沢市) |
| 岡 純矢 (金沢市) | 新保 弘 (金沢市) |
| 朝倉 薫 (金沢市) | 山岸 正揮 (金沢市) |
| 南 恒太 (金沢市) | 東 幹人 (金沢市) |
| 荒間 知子 (金沢市) | 勝尾外美子 (金沢市) |
| 千寿閣社交ダンス愛好会 (金沢市) | |
| 石川県喫茶飲食生活衛生同業組合 (金沢市) | |
| 伊藤忠商事(株)金沢支店 (金沢市) | |
| (株)サンライン (金沢市) | |
| 室町製菓(株) (金沢市) | |
| (株)サークルKサンクス (金沢市) | |
| 押野校下婦人会 (金沢市) | |
| 北國新聞社涌波販売店 (金沢市) | |
| 弥生公民館 (金沢市) | |
| 上田 春男 (金沢市) | 笠間 晴隆 (金沢市) |
| 塩崎 恵一 (金沢市) | 沖野 宏子 (金沢市) |
| 柴田 明美 (金沢市) | 北野 喜行 (金沢市) |
| 牧野 明美 (金沢市) | 一川 明宏 (内灘町) |
| 吉川 一子 (金沢市) | 宮崎 誠子 (金沢市) |
| 米村 貞子 (金沢市) | 宮崎 幸恵 (金沢市) |
| 京徳三四子 (七尾市) | 竹野 秀春 (鳳珠郡) |
| 深水 和子 (金沢市) | 永井五十鈴 (能美市) |
| 杉林 (金沢市) | |

寄附金の部

- 柴田 明美 (金沢市) 島 貞夫 (金沢市)
- 米田かずえ (能美市) 東藤 登 (野々市町)
- 林 孝雄 (金沢市) 浅田
- 小野 陽子 (金沢市)
- 賽銭箱

その他匿名 四十二名

ご厚意ありがとうございました。

